

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校経営中期取組目標

#### 学校経営中期取組目標

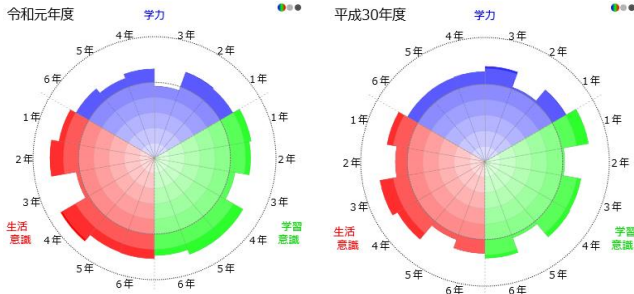
- 魅力あるわかる授業をつくり、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図ります。
- あいさつをはじめとした礼儀や規範意識を大切に、人権意識を育て、心身共に豊かな子を育てます。
- 自分を見つめ、自分の体に興味をもち、心身共に健康な体をつくろうとする子を育てます。
- 「横浜の時間」を中核に、異学年活動や地域とのふれあい活動を通して、地域の材を生かして学習を進め、地域を愛する子を育てます。
- 様々な人とのコミュニケーションを通して、社会への視野を広げる子を育てます。

### (2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野		取組目標	具体的取組
生きてはたらく知		「魅力あるわかる授業」のために、十分な教材研究を行い、児童が進んで学習課題を解決したり、自分の考えを表現したりする姿勢を育てる。	①重点研究テーマを「じっくり考え、高め合い、確かな言語能力を身につけ、いきいきと表現しようとする子」と設定し、国語科を中心に充実した言語活動を設定する。 ②「学習スタンダード」を意識した授業展開を図るとともに、T.Tや教科担任制を効果的に取り入れ、基礎・基本の定着を図る。
担当	教務部		

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析



全体的な学力については、ほとんどの学年で横浜市の平均値を上回っている。特に国語について多くの学年で市の平均を大きく上回ったことは、重点研究の教科として取り組んできている成果だと考えられる。学力で市の平均を下回った第3学年では、学習意識に関しては前年度より向上しているため、今後も学習意識の向上とともに、学力の向上を目指していく。

### (2) 教科学習の状況

- 国語科：第5・6学年で書く能力の観点で向上した。第3・4学年では、知識・理解・技能の観点で向上が見られた。第1・2学年ではすべての観点で市の平均を上回っている。
- 算数科：第4学年では、すべての観点で市の平均を大きく上回っている。
- 社会科：第3学年で思考・判断・表現の観点に課題がある。
- 理科：第5学年で技能の観点で課題が見られる。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識調査も含めて分析）

過去数年間の経年変化を見ると、学力だけでなく、学習意識や生活意識についても高い値を示す学年が多い。その一方で第3学年の調査結果では、学力、学習意識、生活意識は、それぞれに影響し合っていることが分かる結果となった。特に、算数や理科、体育に対する苦手意識を感じている児童が多くいる様子が見られた。また、生活意識の結果では、一日の運動時間や家庭での学習の時間が減少していた。第6学年では、前年度と比較して学習意識が大きく向上した。特に社会や算数、音楽や家庭科への意識の向上が見られた。学校全体では、生活意識が年々向上している様子が見られたが、一日の運動時間が減少している様子が多く見られた。学習意識でも、体育学習への意識は他の教科と比べて低い様子も見られることから、子どもたちの運動への意識を高められるようにしていく。

### 3 令和2年度 学年・教科等としての具体的取組

#### 1 学年

- 国語科を中心に、互いの話を集中して聞き、話題に沿って話し合うことを大切にする。
- 分からないこと、詳しく知りたいことを敬体で尋ねたり、自分の気持ちを言葉で表したりしながら対話する場面をつくる。

#### 2 学年

- 国語科を中心に、順序立てて考える力や感じたり想像したりすることを大切にする。
- 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもつことができるようにする。
- 子ども自身が主体的に活動できる場면을大切にする。

#### 3 学年

- 国語科を中心に、言葉の意味を正しく理解し、用いることができるようにし、自分が考えたことをより詳しく相手に伝える力を高める。
- 意欲的に楽しく学習ができるよう、相手意識、目的意識を明確にした言語活動を設定する。
- 互いの考えを交流し、それぞれの良さを共有することで、様々な見方ができるようにする。

#### 4 学年

- 国語科を中心に、相手や目的を意識した言語活動を充実させる。自分と他者の共通点や相違点に着目して話し合い、考えを深めていけるような場면을位置づける。
- 話の中心を聞き取り、自分の考えを述べるだけでなく、相手の考えを取り入れることで、深い学びにつなげていく。
- 当該学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使えるようにする。

#### 5 学年

- 国語科を中心に互いの立場や意図を明確にしながらか計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりできるようにする。
- 思考に関わる語句の量を増やし、それを文章の中や意見を伝える場面等で使うことができるよう言語活動を充実させる。
- 話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、書き表し方の工夫を考え、まとめる力をつけていく場면을位置づける。

#### 6 学年

- 国語科を中心に、思考力・判断力・表現力を育成するための言語活動を充実させる。
- 話し手の目的や意図をとらえ、自分の考えとの共通点や相違点を整理して聞く力を、身に付けられるようにする。
- 筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高められるようにする。

#### 個別支援学級

- 個に応じた適切なコミュニケーション手段を活用し、自分の思いや考えを伝えることを大切にする。
- 相手の立場や気持ち、状況などに応じ、しっかりと話を聞く場面を多くする。
- 交流学年との連絡を密にし、個に応じた学習を大切にする。